

# 2015年度 環境活動レポート

(活動期間 2015.4月～2016.3月)



大蔵印刷工業株式会社

発行日 2016.05.10

# 環 境 方 針

当社は、「今を見つめて そして未来へ」を合言葉に、各種印刷物をはじめ、マルチメディアデザインにも積極的に取り組んでおります。

今ある資源を大切に、また限りある資源を未来につなぐという課題を持って、環境保全活動を積極的に展開し、事業活動を通じて、地球環境の保全と共生を目指します。

## <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①CO2削減のために省エネルギーを促進します。
- ②廃棄物の削減及び再資源化を推進します。
- ③水使用量の削減を行います。
- ④グリーン購入を促進します。
- ⑤環境に配慮した印刷物への取組みを推進します。
- ⑥化学物質の適正管理をします。

2. 環境関連法規則や当社が約束したことを遵守します。

3. この方針は、全従業員に周知すると共に、社外にも公開してコミュニケーションを図ります。

制定日：2010年10月1日

改訂日：2016年4月5日

大蔵印刷工業株式会社

代表取締役 山本正明

## ■ 事業の概要

(1) 名称及び代表者

大蔵印刷工業株式会社  
代表取締役 山本 正明

(2) 所在地

本社 大阪府羽曳野市誉田3-22-21

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 朝野亜紀子 TEL 072-958-3344  
FAX 072-958-2671  
担当者 松村 厚子 TEL 072-958-3344  
FAX 072-958-2671

(4) 事業内容

マルチメディアデザインの販売及び各種印刷物の製造販売

(5) 事業の規模

資本金 10,000千円  
従業員 7名  
延べ床面積 470㎡

(6) 事業年度

4月～3月

## ■ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：大蔵印刷工業株式会社

活 動：マルチメディアデザインの販売及び各種印刷物の製造販売

■ 環境目標と実績

	単位	基準値	2014年		2015年		2016年	2017年
			(削減目標)	(実績)	(削減目標)	(実績)	(削減目標)	(削減目標)
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	kg-CO <sub>2</sub> 8,578 (2014年)	13,479	8,578	8,492	9,099	8,407	8,321
	ガソリンの削減	kg-CO <sub>2</sub> 5,032 (2014年)	12,150	5,032	4,982	5,320	4,932	4,881
	合計	kg-CO <sub>2</sub> 13,610 (2014年)	25,629	13,610	13,474	14,419	13,339	13,202
一般廃棄物の削減	kg	700 (2009年)	644	452	630	570	616	602
生活用水の削減	m <sup>3</sup>	150 (2009年)	140	67	140	72	139	138
環境配慮製品の製造推進	%	50 (2009年)	53.0	53.0	54.5	56.75	55	55.5
グリーン調達の推進(アイテム数)	品目	6 (2009年)	11	11	12	12	13	14
会社周辺の清掃活動	回	15 (2011年)	22	22	23	23	24	25
緑化・リサイクル活動	回	12 (2013年)	13	13	14	15	15	16

注1) 電力、自動車燃料の目標値は、これまでの取組成果に基づき2014年度の実績を基準値として見直し、新たに2015年～2017年の目標値を設定した。

注2) 電力の二酸化炭素実排出係数は、関西電力のH19年度0.355kg-CO<sub>2</sub>/kWh から直近値のH26年度0.522kg-CO<sub>2</sub>/kWh に見直すとともに、上表の関連データを遡って再計算し表示した。

注3) 化学物質の削減は未使用物質を譲渡し保管ゼロとなり、目標から除外した。

## ■ 環境活動計画の内容と取組結果の評価

取組計画	達成状況		単 位 基準年度比	評 価 (結果と今後の方向)
<b>電力の削減</b> ・不要照明の消灯、クールビズ運動 ・冷房28℃、暖房20℃ ・生産工程ロス削減	基準年度	8578	kg-CO <sub>2</sub>	目標未達成 基準年度、係数の見直しにより、高めの目標となり、結果未達成となった。休憩時の消灯、残業しない仕事の進め方など業務改善に取り組み目標達成できるように取組みたい。
目 標	8492	99%		
実 績	9099	106%		
<b>ガソリンの削減</b> ・エコドライブ10の実践	基準年度	5032	kg-CO <sub>2</sub>	目標未達成 基準年度の見直しにより、高めの目標となり、結果未達成となった。再度車の運転状況を見直し、削減していききたい。
目 標	4982	99%		
実 績	5320	106%		
<b>一般廃棄物の削減</b> ・コピー用紙の裏面使用	基準年度	700	kg	目標達成 裏紙を探すほどに裏紙使用の徹底がされている。通常使用するトレイに裏紙を入れておく工夫を行っている。今後も引き続き廃棄物削減に取り組みたい。
目 標	630	90%		
実 績	570	81%		
<b>生活用水の削減</b> ・元栓を少し締める	基準年度	150	m <sup>3</sup>	目標達成 目標を大幅に達成できた。今後も節水を心がけるように声掛けしていききたい。
目 標	140	93.3%		
実 績	72	48%		
<b>環境配慮製品製造の比率アップ</b> ・古紙使用の推進 ・名刺ブラケース使用削減 ・簡易包装の推進	基準年度	50	%	目標達成 古紙使用推進に合わせ、簡易包装やブラケース削減を今後も続ける。
目 標	54.5	109%		
実 績	56.8	114%		
<b>グリーン調達推進(アイテム数)</b> ・原材料の購買基準の作成 ・文房具、什器、備品の購入基準の見直し	基準年度	6	品目	目標達成 今後も物品購入時はエコ商品を選択する。
目 標	12	200%		
実 績	12	200%		
<b>会社周辺の清掃活動</b> ・清掃活動を1～2回/月する	基準年度	15	回	目標達成 活動を初めて約5年。なかなかごみは減りませんが、ゴミが減ると街も気持ちも綺麗になり快適です。今後も継続推進していききたい。
目 標	23	153%		
実 績	23	153%		
<b>緑化・リサイクル活動</b> ・緑化・リサイクル活動を毎月交互に1回/月取り組む	基準年度	12	回	目標達成 リサイクル活動では、段ボールや保護材のリユースが多かった。今後も続けたい。
目 標	14	117%		
実 績	15	125%		

## ■ 環境関連法規制等の遵守状況

適用となる主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理	○
浄化槽法	浄化槽設置届出、定期検査、処理基準の遵守	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・エアコンの廃棄時の適正処理	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検・定期点検記録及び適正管理と処理	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	○
騒音規制法 振動規制法	特定施設（届出施設）設置届出書提出	○

環境関連法規制等の遵法状況の評価の結果、環境関連法規制等の違反はありません。  
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

## ■ 代表者による全体の評価と見直し結果

エコアクションに取り組み始めてはや5年。みなさん変わらぬ努力ご苦労様です。時代の流れと共に、基準年度や二酸化炭素排出係数を見直すことは、レベルアップに欠かせません。

オークラは今、羽曳野市の地元企業として、百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録を応援する取組を行っています。古きものを未来へつなぐためには、環境への持続的な取組も欠かせないと考えます。社員一丸となり、活動の継続、そして高い目標へ近づけるようがんばって行きましょう。

## ■ 次回の環境活動レポートは、2017年5月の予定です。

【清掃活動の様子】

毎月1～2回の始業前、会社周辺の清掃活動を行っています。



なかなかゴミは減りません…



吸い殻、多いなあ。  
街がきれいになるとうれしいね。

2016.3.20（日）古市古墳群、第7回ウォーク&クリーンに参加。

古墳を巡りながらお掃除してきました。

